

労働者 建設労働者本部ニュース

全日本建設交運一般労働組合群馬県本部
〒371-0023 (略称・建交労群馬県本部)
群馬県前橋市本町3-11-12 TEL:027-223-0007
FAX:027-223-9966 e-mail:ctg-g@nifty.com

群馬県が耐震改修促進計画を改正 住宅用耐震シェルター補助対象に



群馬県本部が全国統一要請行動で 耐震改修補助制度の改正を強く要請

群馬県本部は、5月23日に実施した全国統一要請行動で、群馬県に対し「公契約条例導入」と「住宅用耐震シェルター設置への補助金」を中心に要請してきましたが、7月17日付上毛新聞によると、群馬県は、同月16日までに「住宅用耐震シェルター」を活用した減災促進策を新たに盛り込んだ県耐震改修促進計画の改正原案をまとめたことがわかりました。

住宅用耐震シェルターとは、1階にある寝室など特定の部屋の壁や柱を補強し、家屋が倒壊しても、その部屋だけ壊れないようにするということです。

先の実請行動で県本部代表は、住宅用耐震シェルター

設置への補助制度創設の必要性について、次のように訴えました。

「今回、比較的地震発生率が低いとされた熊本県で大地震が発生し、住宅の1階部分が押しつぶされ多くの住民が下敷きとなり死傷者がでた。群馬県でもいつ大地震が起きてもおかしくない状況だ。しかし、住宅を丸ごと耐震化するには100万円以上の大金が必要となる。旧耐震基準の家の居住者は高齢者世帯が多く、今後の居住年数を考えると耐震化に踏み切る人は少ない。住宅耐震化と並行して住宅用耐震シェルター設置にも補助制度を設けるべきだ」と、すでに制度を実施している東京都の事例も示

しながら補助制度導入を強く要請しました。

建築支部では、この群馬県の動きを受け、補助金申請の窓口となる県内の市町村にも制度改正を要請する準備をしています。

アイズ前橋が耐震シェルター施工代理店に登録

群馬建築支部組合員で構成する職人組合「アイズ前橋有限責任事業組合」は、このほど耐震シェルター制作業者の(有)宮田鉄工(愛知県)の施工代理店に認定されました。同社の製品はすでに東京都に認可され活用されています。

ダンブ

高崎市文化芸術センター工事 富岡市長へ元請指導を再要請

高崎市(富岡賢治市長)は高崎駅東口に総工費約221億余をかけ文化芸術センターを建設しようとしていますが、元請JV代表竹中工務店が、請負契約約款を無視して建交労ダンブ組合員の使用促進

を拒否しているため、組合は富岡市長に対し再度、元請指導を強く要請しました。本工事にはJVで地元ゼネコン佐田建設も入っていますが、国の助成金が入っている関係で、事実上は中央の大手ゼネコン竹中工務店が全て仕切っています。中央ゼネコンの横暴を許さず、現場の交通安全と地元ダンブ労働者の労働条件改善のため組合は闘争を続けています。

一人親方労災保険 治療費は完治するまで無料 障害残れば一時金も支給



ダンブ支部のAさんは、昨年2月にダンブ運転席から降りてでこぼこの地面に足をついた際にバランスを崩して転倒。とっさに右手で体をかばったため右肩を負傷しました。

組合の一人親方労災保険に加入していたAさんは、事故の報告を組合にして労災保険を使い、今年の6月まで約1年6か月間、病院での治療を無料で行うことができました。

そして、右肩に障害が残ったため、これも組合に相談し、傷害補償給付の支給申請を監督署へ行い、12等級と障害認定され、

このたび給付金が支給されました。

Aさんは「費用の心配をすることなく治療が受けられ、痛みなどの後遺症は残ったが傷害補償も受けられ助かった。組合と労災保険に加入して本当に良かった」と言っています。

建交労群馬県本部では国の認可を受けた当組合が事業主となっており、一人親方労災保険業務を行っています。加入していない組合員さんは加入の検討をしてください。そして加入している組合員は、労災保険に未加入の仲間を組合に紹介しましょう。

年間保険料等は下表のとおりです。(単位円)

	A	B	C	D	E	F
建設	116,960	103,090	89,200	75,350	61,480	40,675
ダンブ	81,920	72,430	62,940	53,450	43,960	29,725